

授業科目 義肢学特論実習

【担当教員名】 東江 由起夫 他	対象学年	4	対象学科	義肢
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	60

【概要・一般目標：GI0】

義肢の専門的な技術を身につけるために、最新の義肢ソケットの製作適合技術、アライメントの調整技術、部品の調整技術等について学ぶ。また最先端の義肢部品の取り扱い方や調整方法についても学ぶ。さらに義肢の評価方法や分析方法についても学び、これからの義肢に求められる機能や構造について探求する。また特殊症例の義肢のアプローチや、製作適合技術についても探求する。

【学習目標・行動目標：SB0】

1. 本科目の全体的な概要と評価内容、評価方法を理解している。
2. 最新の義肢ソケット適合、アライメント調整が実践できる。
3. 最新の義肢部品の取り扱いと調整ができる。
4. 義肢の評価および分析が実践できる。
5. 特殊症例に必要な義足部品が選択できる。
6. 特殊症例に対するリハビリテーションアプローチを把握している。

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション（全体の概要と評価方法）、最新の義肢ソケットと義足部品	1	説明
2	最新の義肢ソケットデザインの概念と適合概念	2	実習
3	アライメントの適合概念	2, 3	実習
4	義肢部品の構造、機能、特性	3	実習
5	最新の義肢の評価方法と調整方法	4	実習
6	義肢の評価方法と分析方法	4	実習
7	義肢に求められる機能	5	実習
8	特殊症例に対するアプローチ	6	実習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	義肢学 日本義肢装具学会監修	澤村誠志編、鋤園栄一ほか 監修	医歯薬出版	1988
参考書	切断と義肢	澤村誠志	医歯薬出版	1999
その他の資料				

【評価方法】

適合評価50%、カルテ評価50%、

【履修上の留意点】

原則、授業の1/3までの欠席の者は、科目評価資格を失うものとする。
遅刻2回で1回の欠席とする。
最終評価から1回の欠席につき-5点、1回の遅刻で-3点とする。